広報あいら

発行所　鹿児島県姶良郡姶良町役場
発行人　池田盛孝　編集人　吉井忠夫
（印刷所）キング堂印刷所

町の人口動態
（7月1日現在）

世帯数		6.271戸
人口	男	10.485人
	女	12.115人
	計	22.600人
6月の	出生	11人
	死亡	18人
	転入	175人
	転出	145人

～重富海水浴場開設～

期間　7月15日から8月31日まで

黒んぼ大会、映画会（南日本新聞事業部の後援）で実施する予定

職員定数条例など改正
六月定例議会

六月二十日に定例議会が招集され、議案十七件陳情七件を審議した。内容は次のとおり

△固定資産評価員設置条例等を廃止する条例（可決）

この条例は、固定資産評価員設置条例、土地家屋評価権衡委員会設置条例、農山漁村建設総会施設管理および、処分に関する条例を廃止しようというもの。

△姶良町税条例の一部を改正する条例（可決）

地方税法の一部改正によって改正されたもので、非課税二十二万円を二十四万円に、法人税割一〇〇分の八、四を八、九に、固定資産税の免税点を引上げ、土地二万円が八万円に、家屋二万円を五万円に、償却資産十五万円を三十万円に、それぞれ改めた。身体障害者に対する軽自動車税の減免規定を設けた。以上が主な改正点です

△国民健康保険税条例の一部を改正する条例（可決）

主な改正点は、税率の改正で、所得割額百分の四を百分の四、二に、固定資産額百分の十六を百分の十八に、被保険者均等割額五百円を七百円に改め、税の減額として、均等割額二百四十円を三百円に、世帯割平等割額四百五十六円を六百円にそれぞれ改めた。

△災害による被害者に対する町税の減免に関する条例（可決）

災害によって被害をうけた固定資産税、町民税などを減免しようというもので、従来災害のつど町長が決めていたものを今回条例化したもの

◎町民税の場合（納税義務者）

1　死亡した場合　十割
2　生活扶助を受けることになった場合　十割
3　不具者になった場合　九割

財産の損害金額（保険金損害補償金等により補てんされる金額を除く）がその価額が四割以上で、総所得金額が八〇万円未満もので災害を受けた月以後の税額を次の割合を乗じたものを減免する。

市町村民税の総所得金額 ＼ 財産の損害の程度	7割以上	4割以上7割未満
25万円以下	10割	5割
50万円以下	5割	2.5割
80万円以下	2.5割	1.25割

◎土地に対する減免

被害割合	減免額
8割以上	10割
6割～8割未満	8割
4〃～6〃	6〃
2〃～4〃	3〃

◎家屋に対する減免

(1)全壊流失、埋没等により家屋の原形をとどめないもの　十割
(2)山くずれ、土砂流入、台風等により主要構造部分が著るしく損傷し、大修理を必要とする場合六割以上の価値を減じたと認めるとき
(3)軒下浸水等により、内かべ、外かべ、屋根、建具等の損傷をうけ、居住、使用目的を著るしく損じ家の価額が四割以上六割未満の価値を減じたと認められるとき
(4)下かべ、たたみ等に損傷をうけ居住、又は使用目的を損じ修理または取替を要する場合、家価額が二割以上四割未満の価値を減じたと認められるとき、

◎償却資産に対する減免

前と同じ

◎減免をうける場合は申請書を提出しなければならない

△災害による被害者に対する姶良町国民健康保険税の減免に関する条例（可決）

前の条例とほぼ同じ

△農業近代化資金利子補給条例の一部を改正する条例（可決）

基準金利九分五厘を九分に、借受人支払利率五分五厘を五分に改めるもの

△鹿児島県農業振興資金融通規則にもとづく姶良町利子補給条例の一部を改正する条例（可決）

飼料資金と協業経営の促進に要する資金の増設、生活改善資金の制度を廃止し利率を引き下げた。

△監査委員選任について同意を求める件（同意）

学識経験者選出の任期満了によって再度、住吉の「三角政義氏」を同意するもの。

△姶良町室課条例の一部を改正する条例（可決）

企画室を企画課に改め、土地改良課を廃止するもの

△姶良町職員定数条例の全部を改正する条例（可決）

総数一五八名を一六六名に増員するもの、他の町村の類似団体との比較検討し、町の実体を六か月にわたって調査したところ、前のような定数が必要であるということで改めたもの。

町長事務部局	一二四名
議会事務局	二名
教育委員会	五名
選挙管理委員会	一名
監査委員	一名
農業委員会	五名
学校の職員（町費）	二三名
公民館	五名

（いずれも臨時職員を除く）

△専決処分に関する件（可決）

四十年度国民健康保険施設勘定予算に不足を生じたので、四十一年度予算から補正専決したので、これが承認を求めるもの。

△一般会計予算補正予算の件（可決）

五百八十七万六千円を追加するもの。

△上水道事業特別会計予算の件（可決）

△国民健康保険事業勘定補正予算の件（可決）

三万一千円を追加するもの

△道路拡幅について（採択）

城下、森山部落公民館長連名で森山部落内の道路をひろげてほしいというもの

△補助金増額陳情（採択）

北山土地改良区理事長ほか数名から、西ノ山、上原農林道改良事業に対して補助金を増額してほしいというもの。

△校舎を改修陳情（採択）

北山中学校PTA会長ほか数名から、北山中学校々舎を改修してほしいというもの。

△完全給食実施方陳情（採択）

北山中学校PTA会長ほか数名から、北山中学校の完全給食ができるよう諸施設をしてほしいというもの。

△旧飛野分校および敷地の無償貸付願い（採択）

小組合長から、部落公民館として子ども、婦人、成人学級の場に使用したいから、無償で貸してほしいというもの。

△町有地有償払下願い（委員会付託）

脇元森山熊吉氏から町有地を有償で払下げてほしいというもの。

△プール建設願い（採択）

帖佐小学校区青少年問題協議会々長から、帖佐小校区の児童は別府川で泳いでいるが、たいへんきけん区域も多く、農薬等もあってきけんであるので学校区にプールを建設してほしいというもの

△道路拡幅について（採択）

平松、山ノ口公民館長から、山ノ口部落の道路をひろげてほしいというもの。

七月一日付人事移動

機構改革や、課長、係長級等の勇退によって、今回六十名の移動と昇格者等を次のとおり発令した

企画課長	竹下　二男
福祉課長	神ノ口定二
経済課長	田中　貞夫
建設課長	羽牟　近
税務課長	折口　武二
企画課長補佐兼企画係長	藤山　等
総務課長補佐兼財務係長	早川　光雄
住民課長補佐兼記録係長	達野　憲
建設課長補佐兼失対係長	石川　敬次
税務課長補佐兼第一係長	萩原　檍
福祉課長補佐兼福祉係長	池井　貞次
総務課庶務係長	長坪　静男
総務課文書係長	吉井　忠夫
住民課窓口係長	窪田　三郎
住民課年金係長	下豊留　透
福祉課国民健康保険係長	原口　岩夫
経済課経営指導係長	安楽　清
〃　耕地係長	西脇　功
税務課第三係長	山田　正義
〃　地籍係長	田ノ上正三
重富支所主任	小出水鉄男
企画課勤務	篠田　克己
総務課庶務係	和田　次雄
総務課文書係	田代　道信
〃　〃	三段あつ子
〃　財務係	早水　文二
住民課窓口係	田方源太郎
福祉課福祉係	西村　和子
〃　〃	福留　紀雄
経済課耕地係	羽島　静人
〃　〃	大窪　直則
〃　〃	西脇　充
税務課	山元　格
税務課	黒江　英博
〃	小倉　秀光
〃　地籍係	小川　政治
〃　〃	郡山　好徳
〃　〃	大窪　勉
収入役室用度係	岩元　純
〃　会計係	福岡　義文
北山診療所	大山　武雄
山田支所	染川　峯雄
教育委員会出向	三月田　悟
公民館長	河野　通則
学校教育課長	小川　英博
学校教育係長	
総務課勤務	
山口　良文	牧　万吉
代宮司盛秋	佐川　勇

昇格した者

米丸　千歳	（水道課）
加治木　学	（建設課）
松尾　賢一	（住民課）
堀川　敏嗣	（総務課）
新園　勤	（経済課）
本村　道子	（公民館）
大橋美代子	（住民課）
東　都子	（税務課）
宮内　勝	（建設課）
酒匂　弘和	（〃）
古屋　光己	（〃）

水難事故交通事故等から守ろう
夏休みの子どものしつけ

夏休みは、親ごさんにとって頭のいたい、シーズンだといわれています。しかし子どもたちの幸福な成長のために、あまり頭をいためずに、もっと夏休みのもつ教育的な意義を考えて、子どもにとっても、親にとっても楽しい夏休みであるようにしたいものです。

△生活設計をだいじに　心身の健康を第一義とした生活設計をたてましょう

夏休みに入る前に、受持ちの先生とよく相談し、また子どもと話し合いをして、子ども自身に無理のない日課表を作らせることです。最初はとかくはりきりすぎて、欲ばった計画をたてて三日ぼうずになりがちですから、少しゆとりのちる計画をたてて、それを規則正しく守らせることがたいせつです

進学補習教育や、アルバイトや、家庭労働だけを中心とした計画はもちろんいけません。

「しするな」「しせよ」というような他律的なものでなく、子ども自身が「しよう」という自主的な意欲に満ちた計画であることが何よりだいじです。

△病弱な子はこの機会に　いくら健康を中心にするといっても、単なるからだだけでなく、日常の生活規律と運動読書、仕事、レクリエーションなどが体力と能力に応じてバランスがとれていなければなりません。

からだの強い子は積極的にたんれんし病気をもった子はこの機会に適切な養護と治療を加えるべきでしょう。教科書以外の本にも親しみ、本を利用する態度をつくることもたいせつなことです。

△不良化防止　不良化や不慮の事故などから子どもを守りましょう。

夏祭り、納涼大会、キャンプ等外出の機会が多いのでとくに、交友関係や服装などに注意し、外出時間の制限や、保護者の同伴等によって不良化を未然に防止したいものです。

△水難、交通事故等の防止

松原で起きたあの水難事故を思い浮べ、二度とあのような事故を起さないよう、水泳は、きまった場所で看視員等をつけて、ひとりで泳がぬように、また諸車の通行は試験場ができ、交通量はます〳〵はげしくなり、県下の交通事故は日増しに多くなって来ています。

これらの事故を起さぬよう学校等からの注意事項を厳重に守らせるようにしよう。

従業員募集
鹿児島ニットKK（三叉小跡工場）

前号でお知らせしました三叉小学校跡地に、トリコット生地を使用して、婦人、子どもの下着をつくる旭化成系列の工場ができました。

そこで来年三月から開設するので、今回は七月中に十名を採用しこの者を奈良県大和郡山市柳町の旭合せんKKで技術を習得させ、来春新卒五十名を採用し、この者を指導することになります。

三年後は約二百余名の工場にする予定、希望者は学校を通じて申込みください。

なお、くわしいことは企画課に問い合わせください。

1. 募集要項
1. 工場開設技術指導見習員
年令20才前後十名採用、六か月間奈良県にある郡山工場で技術を修得する。七月採用して八月にはけんし、来春三月に帰鹿する。
2. 昭和四十二年三月卒業見込みの新中卒女子約五十名（縫製）男子約三名（ミシン修理、原反製品、移動管理見習）
3. 女子事務員
若干名採用（高校卒）
4. 申込方法
学校補導課または職業安定所
5. 試験場　職業安定所から学校長あて通知する。
6. 選考の方法　面接と適性検査
7. 採否決定　試験後一か月以内に本人に通知する。
待遇
1. 初任給（昇給年一回千円程度）

中卒男子	一三、〇〇〇円
〃　女子	一二、五〇〇円
高校男子	一六、〇〇〇円
〃　女子	一五、〇〇〇円

2. 技術見習者
さき十名は見習期間中手取七千円とする。作業服、寝具は貸与す。ただし身回品はけい行する
3. 指導見習員赴任旅費は会社負担、来春卒業見込採用者は四か月目より月給制とする。
4. 賞与　年二回（八月十二日）
5. 交通費　姶良町近在の自宅通勤を望む
6. 勤務時間　午前八時～午後五時、正午一時間休けい、残業をしたときは残業手当を支給する休日、毎週日曜日、お盆年始
福利厚生
1. 各種保険に加入する。
2. その他健康管理、娯楽設備等充分配意する。

家の建築は許可を受けてから
都市計画区域の変更

町では二十年後の姶良町の構想のもとに、今まで帖佐地区だけが都市計画の区域であったが、重富地区は近年とみに住宅の新築、または工場等の進出がめざましく、行政上その他の面でなにかと不都合がありますので、昨年十月ごろからこの手続きに取りかかり、建設省に認可手続き中でしたが五月十三日付けで認可がありました。

そこで今後は帖佐地区、重富地区は全域にわたって建築許可を受けなければ家を建てることはできなくなりました。

新しい家を建るときは、建築許可申請書を町役場を経由し加治木土木事務所に提出し県の許可を受けてから建てなければなりません。

くわしいことは役場建設課に問い合わせください。

もう一度よく見て
手をあげて渡ろう

交通事故はうなぎのぼりに多くなっております。

今年に入って加治木署管内（六月二十三日現在）でも九十五件が発生し、七人の死亡、八十六人の方がけがをしております。

これらの事故はひとり運転者のみの責任ではなく歩行者側にも過失のある場合も多いようです。

今年七件の死亡事故のうち、四件が歩行者側にも責任があるようです。この四件をながめてみますと斜め横断が一件、車の直前直後の横断が三件にもなっております。

このように悲しい事故をなくしてわたしたちの町を事故のない明かるい平和な町にするためにつぎのことがらをよくおまもりください。

一、渡るまい車のすぐまえうしろ車のかげに車ありです。車のまえうしろを横断する時は、よく止ってもう一度左右の安全を確かめてから、さっさと渡りましょう。

二、右側端を一列に

「人は右」のまもりは安全交通の基本条件です。右側を歩くときあなたの安全は守られます。左側歩きや、三、四人での横ならびは、みずから事故をまねいているようなものです。子どもの手をひくときは、子どもを道路の外側にしましょう。それが本当の愛情というものです。

三、お待ちください。横断歩道がそこにある。

横断歩道の近くでは、横断歩道をお通りください。

車道は川、渡る橋は横断歩道になります。横断歩道のところでは、車は停止、歩行者優先です

四、危険です、道路の遊び、立ち話

道路でのまり投げ、遊ぎなど遊びに気をとられて幼ない命が奪われています。

おとなのひとこえの注意が幼ない生命を助けます。

ついうっかりと長話しに興じて道路のまん中を占領していることもあります。

立ち話は禁物、流れる川にせきをつくることになります。

駐車禁止
国道と松原地区

国道の交通事故増加と松原の自動車運転免許試験場附近の混雑を防止するため、県公安委員会では次のとおり交通規制をしますからご協力ください。

1.駐車禁止の場所
松原＝試験場附近一帯と部落中心部
国道＝岩崎産業前から十日町までの全線

2.速度制限（30キロ）
早川ブロック工場前から松原部落を通って帖佐駅前までの町道約三キロの間

3.以上のほか国道の追越禁止など事故防止のための交通規制がなされる予定です。

県自動車運転免許総合試験場
落成祝

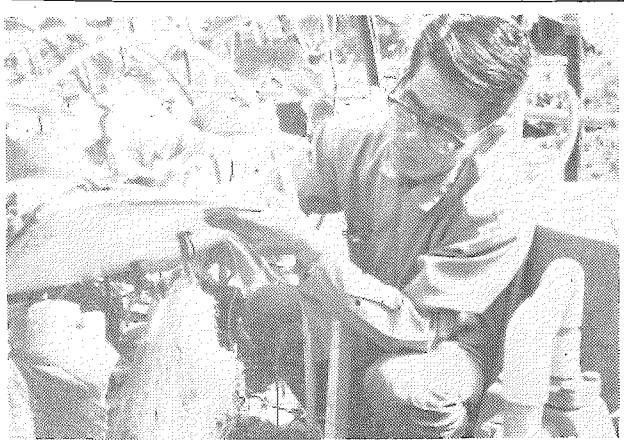
（自動車試験場と受験者たち）

社会体育行事

今年もおおいに参加し、体力づくりと親和を高めよう。

ソフトボール	7月20日	重富中
野球	7月中旬	重富中 帖佐
庭球	8月21日	帖佐中
卓球	8月末～9月初旬	山田小
排球	9月23日	西公園
水泳	未定	療養所
相撲	11月3日	帖佐中
弓道		
剣道 柔道		
銃剣道		

水中でキュウリづくり
一株から五〇本も



（水中にはつた根と永倉さん）

農業といえば土を使うものとされていた。ところが科学の発達で水だけでキュウリをつくることを考え、労力の省力化をかねた活気的な経営ができるようになった。

農業委員会の永倉さんが鉄骨によるビニールハウスで良い成績をあげています。

床は深さ三〇センチ、幅四十五センチほどの箱（長さは隨意）を地下に、地上よりややでるようにうめる。この箱の内側にビニールを張り水がもれないようにする。

これにふたをし、植え込みあなを約十五センチかんかくで直径三センチほどのあなをあけ、このあなから水床でつくったキュウリの苗を入れて成長させる。肥料は工業薬品で四品で一セットになっていて、これを水の中に入れて成育させる。

高さを約二メートルほどにビニール線でつり、それ以上高く成長すると根元のくきをらせん状にまいていくから、一本の株から五〇本はとれるということになります。

この方法でつくると土でつくったものより新鮮で、味はむしろ良く、頭のところのにがみが少ないキュウリができ、市場等でたいへん人気がある。この経営をやりたいかたは町経済課、または普及所に相談してください。

1等級に85部落　納税褒賞式

五月三十日に納税表彰式とあわせ自治功労者等の表彰が行なわれました。

自治功労者（小組合長として永年にわたる功績によるもの）

駅前部落　宮脇　静雄氏
十日町部落　野崎　利道氏
下浜部落　浜下　浜吉氏
油屋部落　大坪　栄氏
仮屋部落　大重　重盛氏
楠元部落　山路　正秋氏
大明神部落　浜川　為清氏
上場部落　増永　鶴吉氏
城瀬部落　田知行栄吉氏

優良たばこ小売人褒賞
役場前　江夏　利男氏
仮屋部落　三坂　貞美氏
町門部落　石川　勇蔵氏
白浜部落　佐川　静江氏

部落納税褒賞は下記のとおり

昭和40年度一般町税納入成績表

部落名	普通税 等級	普通税 賞金	保険税 等級	保険税 賞金
白浜	1	9.900	1	4.550
梅山	1	16.350	1	5.740
坂下	1	15.840	1	6.260
油屋	1	10.850	1	7.740
件町	1	11.220	1	6.380
年平	1	8.730	1	6.400
上ノ上	1	16.720	1	7.510
上ノ東	1	8.170	1	5.210
山野	1	13.080	1	7.120
白金原	1	27.410	1	9.390
ハシ山上	1	8.590	1	4.040
ハシ山下	1	11.260	1	4.840
星原	1	14.740	1	6.910
口山花	1	12.340	1	6.790
奥山	1	14.900	1	7.870
堅野	1	19.300	1	6.750
原方	1	12.520	1	8.290
山ノ口	1	11.620	1	6.060
城瀬	1	7.760	1	5.380
上水流	1	7.990	1	5.410
城下	1	13.260	1	7.520
森山上	1	11.770	1	7.420
触田	1	9.600	1	8.670
触田下	1	10.760	1	8.790
福ケ野	1	3.910	1	3.510
高牧	3	900	1	1.520
船津上	1	12.950	1	9.840
船津下	1	13.840	1	10.870
春花上	1	16.030	1	12.760
春花下	1	13.220	1	8.780
無所属				
合計		365.530		208.320

部落名	普通税 等級	普通税 賞金	保険税 等級	保険税 賞金
山元	1	6.750		
黒葛野	1	7.250	1	6.130
寺師	3	19.740	3	13.500
住吉	3	11.190	3	7.340
永瀬	3	7.870	3	6.230
増田	3	8.430	3	5.850
中津留	1	22.930	1	15.200
豊留	3	10.280	3	7.570
深水	1	4.830	1	3.660
三十町	3	10.690	3	7.090
上藺	3	11.760	3	7.230
上水流寺	努	2.000		
岩崎	3	9.150	3	5.330
仮屋	3	6.650	1	4.350
宇都屋	外		1	7.590
納屋	外			
鍋倉	3	6 370	3	2.440
高樋	1	30.930	1	16.150
上場	1	9.150	1	5.430
東	1	18.100	1	10.350
十日町	3	12.930	3	7.420
帖佐駅前	努	2.000		
森	1	24.360	1	11.140
建昌	努	2.000		
楠元	1	17.220	1	13.140
俵原	3	6.650	3	3.490
並木東	1	15.750	3	5.050
並木西	3	7.710	3	2.900
東原東	1	19.260	1	9.760
東原西	1	17.260	1	9.360
駅下	3	4.180	3	1.730
上山下	1	5.890	1	3.340
ノ口	3	4.150	3	2.410
山蔵	3	5.380	3	2.060
地門	3	5.430	3	3.710
町路	1	8.000	1	4.800
大小浜	1	6.320	1	3.530
上明神	1	3.160	3	1.080
寺村	1	9.640	1	6.680
江湖	1	10.730	1	5.350
片馬場	1	5.900	3	2.090
下浜	1	6.040	1	3.410
下第一	1	7.760	3	2.440
西ノ妻	1	13.520	1	6.730
西ノ妻東				
納税組合	3	6.120	3	3.200
無所属				
錦原				
合計		431.430		246.260

部落名	普通税 等級	普通税 賞金	保険税 等級	保険税 賞金
新馬場	1	12.600	1	5.370
古馬場	1	7.880	1	4.120
星ケ山	1	6.790	1	4.580
鶴田	1	8.900	1	7.860
中川原	1	8.690	1	5.680
西田	1	5.270	1	3.990
新町	1	9.160	1	6.770
寺脇	1	6.020	1	3.760
城	1	2.450	1	2.770
奈良秩	1	9.210	1	7.100
池平	1	3.500	1	3.200
内山田	1	9.310	1	6.350
黒瀬南	1	9.840	1	7.770
黒瀬北	1	4.640	1	3.940
板ノ口段	1	8.820	1	7.010
瀬戸木金	1	4.090	1	3.300
目野	1	4.740	1	4.290
飛野	1	6.820	1	5.380
新飛野	—	—	—	—
大山東	1	9.220	1	6.630
大山西	1	7.200	1	5.210
北野	1	6.880	1	6.930
石ケ迫	1	1.570	1	1.180
馬場	1	7.900	1	5.620
宮脇	1	9.860	1	7.250
中牧	3	1.150	1	1.330
中甑東	1	9.080	1	7.910
中甑西	1	3.980	1	2.540
新生	1	5.490	1	4.430
牟田山	1	2.950	1	2.640
内甑	1	4.450	1	4.520
山花	1	6.600	1	6.060
堂山	1	9.330	1	8.280
木場	1	7.060	1	6.610
木津東	1	8.990	1	7.220
志野	1	3.720	1	4.060
菅園	1	6.500	1	5.260
堂脇	1	8.550	1	8.220
上中	-1	7.320	1	6.750

香典返し

町社会福祉協議会へ

一金参千円也　西サツ子様　西之妻　西　公殿　44才
一金弐千円也　平田宗雄様　口山花　平田　宗一殿　61
一金参千円也　八木喜之丞様　片馬場　八木　晃久殿　81
一金参千円也　末吉市之丞様　東　末吉　スガ殿　75
一金壱千円也　永吉チヨ様　駅前　永吉　久行殿　71
一金五千円也　米満盛蔵様　東原東　米満　好子殿　56
一金参千円也　山本寿吉様　錦原団地　山本　寿睦殿　79
一金弐千円也　川畑盛次様　上藺　川畑　数久殿　72
一金壱千円也　迫村喜之助様　船津下　迫村　春香殿　85
一金弐千円也　大重カロ様　板ノ口　大重　幸男殿　80
一金弐千円也　村田有助様　駅前　村田　つま殿　91
一金弐千円也　佐川　勇様　白金原　佐川・稲子殿　40
一金弐千円也　安永伊次郎様　町門　安永　ケサ殿　71
一金参千円也　吉川ヨ子様　件町　吉川　重弥殿　82
一金弐千円也　谷口　譲様　白金原　谷口　ミカ殿　65
一金参千円也岩穴口ケサギク様　三拾町　岩穴口キクエ殿　79
一金参千円也　亀山マス様　口山花　亀山　魁殿　68
一金参千円也　岸園盛蔵様　増田　岸園　キヨ殿　69
一金参千円也　川田ツヨ様　上の東　川田　国雄殿　62
一金五千円也　今村　栄様　春花上　今村　セツ殿　53
一金二千円也　今門チヨケサ様　十日町　今門　敬次殿　86

七月二十一日現在

◎おわび◎

松原水難事故に見舞を寄せられた、四月号登載の十日町婦人会、一、〇〇〇円は十日町部落でしたからおわびして訂正します。